

こおりやま 市議会だより

第205号 - 令和5年6月定例会 -



「未来の郡山をつくるのはわたしたち！」
(芳山小学校 議場見学)

【2頁 特集】

議場見学によろこそ!

【15頁 議会PDCAサイクル】

令和4年度事業を評価しました

主な掲載内容

特集	2頁
6月定例会の概要	3頁
市政一般質問	5頁
議会PDCAサイクル、臨時会 ..	15頁
政務活動費	16頁
9月定例会開催予定	18頁

議場見学によろこそ！

特集

議会をより身近に感じることができる機会として、広聴広報委員会に所属する議員が、議会のしくみや議場を紹介しています。

6月1日に行われた「芳山小学校6年生」による議場見学では、児童たちが模擬議会などを体験しました。

1 市議会のはなし

議会制度や議場設備などについて、議員が説明しました。



リーフレットをもとに説明する議員

2 模擬議会の体験

児童が考えた議案を発表する模擬議会では、ゴミ拾いポイント制度をつくることや学校タブレット端末に利用制限をかけることなど、身近に必要と感じている議案が提案され、本番さながらの電子採決を体験しました。



議事進行する議長役



議案を提案する市長役



賛否を投じる議員役

3 議場内の施設見学

議長席や質問台などを間近で見学しました。



議長席に座る児童



質問台に立つ児童

4 質疑応答

児童からの積極的な質問に、議員が解説しました。



質問する児童



◇ 感想を聞いてみました！

実際に議会に行って、座って、発言して市長さんや議長さんになったりと、たくさんの初めてでとてもワクワクしました。本物の議員さんに会ったり、休憩時間には傍聴席や議長席に行ったりとても楽しかったです。机の賛成・反対のボタンやマイクを前にして、私は今議員なんだという思いと、私の人差し指で郡山市の未来が変わるといふ重さなどを実際にやれて楽しかったです。

(郡司 うたさん)

見学の受付



議場見学の申込は、随時受付しています。なお、定例会（3月、6月、9月、12月）や臨時会など、議場見学の受入れができない場合がありますので、詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

令和5年6月定例会の概要

原油価格・物価高騰対策に要する経費を含む
一般会計補正予算（第3号）など議案29件、
議案2件を可決

6月定例会を、6月15日から30日までの16日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、市長が提出議案の提案理由を述べました。

21日から26日までは、18人の議員が市政一般質問を行いました。

27日と28日は、4つの常任委員会で、付託された議案24件と請願2件を審査しました。

最終日となる30日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受けた後、賛否が分かれた議案について、1人の議員が反対の討論を行いました。

その後、採決の結果、郡山市税条例等の一部を改正する条例など、議案21件と請願2件を全会一致で可決・承認・

採択したほか、原油価格・物価高騰対策として、地域公共交通事業者・運送事業者等への支援に要する経費を含む一般会計補正予算（第3号）など議案3件を賛成多数で可決しました。

また、追加提出された郡山市公平委員会委員や郡山市横沢財産区管理委員の選任などに関する人事案件5件に全会一致で同意したほか、地方財政の充実・強化を求める意見書、「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の議案2件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政

問 軽自動車税の車種区分追加の概要と周知方法は。

答 これまで電動キックボード等で公道を走るには、原動機付自転車の車種区分であったが、法改正後は、条件を満たした車両については、新たに設けられた特定小型原動機付自転車の区分となる。

今後もし引き続き、ウエブサイト等で周知を図りたい。

環境経済

問 アジア誘客モニターツアー事業の企業向けツアーはどのような訪問先を想定しているのか。

答 ふくしま医療機器産業推進機構への訪問希望が多いことから、連携を図っていく。また、飲食業、製造業、酒造関係の企業に対する需要が高いことから、各事業者の協力を得て進めたい。

建設水道

問 麓山地区立体駐車場における混雑緩和の対策は。

答 周辺施設の大規模なイベント等に伴う駐車場内の混雑に対応するため、令和5年7月から令和6年3月までの9か月間で月あたり10人の誘導員を配置し、場内の混雑状況の案内や出口へのスムーズな誘導を図る。

文教福祉

問 ニコニコ子ども館に開設予定のこども家庭センターには、相談ブースをどの程度設置する見込みなのか。

答 母子保健と児童福祉の窓口を一体化し、すべての妊産婦、子ども及び保護者に対する相談支援機関となる同センターの開設に向け、相談室と相談ブースを合わせて5か所設置する予定である。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

	件名	議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）										
			志翔会	新市政会	郡山市議会公明党	緑風会	立憲民主党郡山	自由民主党郡山市議団	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	立憲民主党	国民民主党
			7人	8人	4人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	1人
補正予算	一般会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	×	○
	国民健康保険特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○
条例改正	郡山市国民健康保険税条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○

欠席：志翔会1名、虹とみどりの会1名

全会一致で可決した議案等

条例改正	郡山市職員の特殊勤務手当に関する条例及び郡山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	その他	工事請負契約（準用河川徳定川河川改修工事、校舎長寿命化改修事業（大島小、赤木小、大成小、芳賀小）、屋内運動場長寿命化改修事業（日和田小））
	郡山市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例		工事請負契約の変更（郡山西部第一工業団地第2期工区造成工事）
	郡山市税条例等		財産の取得（消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ積載車、融雪剤散布車）
	郡山市都市公園条例等		財産の処分（土地）
	郡山市総合学習センター条例		福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更
	郡山市財産区管理委員の報酬及び費用弁償に関する条例		専決処分の承認を求めること
条例制定	こども家庭庁設置法等の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	郡山市公平委員会委員の選任	郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任
	消費税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	郡山市財産区管理委員の選任（横沢、浜路）	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること

全会一致で採択した請願

- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書
- 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

全会一致で可決した意見書

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

賛否などの詳細は市議会ウェブページを御覧ください。



議案等に対する各議員の賛否



請願文書

令和5年6月定例会 市政一般質問

● 今回の質問者数 18名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。
また、掲載項目は質問者間で重複しないよう調整しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約していません。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市議会ウェブページや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)
- ・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
- ・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和5年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



会議録検索システム

一般質問



日本共産党郡山市議団

おかだ てつお
岡田 哲夫 議員



麓山地区立体駐車場の無料措置について

問 県庁駐車場は、県庁の利用証明があれば無料となっております。麓山地区立体駐車場も、市の施設利用証明書等で、時間に関係なく無料とする方式を検討してはどうか。

答 入庫後の2時間を無料とし、障害者手帳所持者や中央公民館等の周辺施設で、市の主催事業を行う場合、市の求めに応じて出席する講師等や、施設利用料の免除を受けている人等は、利用時間に関わらず無料としている。

なお、無料対象を証明する書類等を施設職員に提示し、駐車券に電子処理する方法を採用している。



麓山地区立体駐車場

Park-PFI※事業の除草等業務委託について

問 開成山公園の除草等業務を受託してきた郡山地方高齢者福祉事業団に、来年度から委託できないと開成山公園等Park-PFIの事業者から話をされたと聞いた。

市民の仕事が奪われないよう、委託業務の継続について業者に話をすべきではないか。

答 開成山公園の維持管理に関わる現在の委託業者の実績等を今年1月に事業者に伝え、地域雇用等の配慮を求めたところであり、事業者からは、現在、開成山公園の緑地除草業務等の維持管理にかかる具体的な委託先について、検討を進めていると聞いている。

※Park-PFI：公募設置管理制度。公園利用者の利便向上に資する公募対象施設の設置・管理運営と将来的な収益を活用した公園の広場等の整備・改修等を民間事業者が一体的に施工することができる制度。

一般質問



志翔会

もりあい
森合

ひでゆき
秀行 議員



郡山カルチャーパーク内ドリームランドの遊具について

問 来年の市制100周年を契機とし、新たなアトラクションの設置や大規模リニューアルを検討すべきと考えるが見解は。

答 ドリームランドの大型遊具については、令和3年度に健全度調査を実施し、近い将来全面的な遊具の更新が必要との診断がなされた。

郡山カルチャーパーク全体の今後について意見を聞かれたら、「郡山カルチャーパークの今後の管理運営に係る懇談会」を開催することとしており、新たなアトラクションの設置等についても懇談会の意見を参考に検討していく。



郡山カルチャーパーク

更なるいじめ対策について

問 子どもをいじめから守るため、市長部局に監察課を設けている寝屋川市など他自治体の取組みを参考に、更なるいじめ対策について調査研究すべきと考えるが見解は。

答 教育委員会では、いじめ対応マニュアル等を全校配付するとともに教職員向けにいじめ防止講座を予定しているほか、いじめ防止リーフレットを配付し、道徳や学級活動の授業で活用している。

また、保健所と連携し臨床心理士による教室を予定しており、全市的にいじめ対策に取り組んでいる。今後も、他市の取組み事例を調査研究するとともに、関係機関との連携を一層深め、いじめ対策に取り組んでいく。

一般質問



無所属の会

やない
筋内

よしひこ
好彦 議員



障がい者の採用活動について

問 障がい者雇用への理解を促進した上で、各障害種別において積極的に障がい者を採用すべきと考えるが見解は。

答 2019年度以降、障がい者採用枠の受験資格について、精神障害者保健福祉手帳などの交付を受けている人についても受験可能としている。

今後においては、他市事例を調査研究するとともに、障がい者の中には、特定の分野において高い能力を発揮する人も存在することから、このような能力を発揮できる業務の創出、さらには福島労働局や障害者就業・生活支援センター等の関係機関と意見交換や連携を図りながら採用活動の充実に努めていく。

本市における夜間中学のニーズ調査について

問 夜間中学のニーズ調査の内容や実施方法、実施スケジュールについて見解は。

答 学びたい理由や内容、年齢、国籍等について、市民を対象にしたニーズ調査を本年8月に実施予定である。

実施方法については、インターネット上でのアンケートフォームによる回答やFAX等による回答など、多様な方法で回答できるように検討している。

また、より広く市民にニーズ調査を周知するために、広報こおりやま8月号や本市ウェブサイトへの掲載等により、調査を実施していく。



夜間中学アンケート調査

一般質問



郡山市議会公明党

山根 悟 議員



阿武隈川や笹原川の浸水対策について

問 現在の進捗状況および工事全体の効果がどのように浸水対策に結びつくのか。

答 阿武隈川については、護岸等施設は復旧完了、御代田地区の築堤工事も概成し、河道掘削事業は本年度で市内の計画が完了予定であり、上流域での遊水地整備は、令和10年度に完成予定とのことである。また、笹原川は、樹木の伐採や河道掘削を昨年度に完了したと県から聞いている。

この阿武隈川の掘削工事等による水位低下により、浸水被害が軽減

し、支川の笹原川も同様の効果が見込まれる。



河道掘削後の阿武隈川

LGBT※理解増進法にかかる本市の取組みについて

問 市民や事業主等に寄り添った施策の策定と実行を望むが、具体的にどのような取り組みなのか。

答 昨年度は企業等へのセミナーの開催や、市職員へ周知およびLGBTについての基礎講座を動画配信し、また、医師や支援員へのヒアリングを行い、支援員より、相談に必要な知識等の研修実施について要望が出された。

今年度は、LGBT相談員養成講座を開催し、相談員の資質向上を図るなど、今後も、出前講座や養成講座を継続的にを行い、更なる理解促進と相談窓口支援を進めていく。

※LGBT: レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(身体と心の性が一致していないため、身体的性別で生きたいと望む人)の総称

一般質問



志翔会

近内

利男 議員



広域連携中枢都市圏域内の住民サービス拡大について

問 こおりやま広域連携中枢都市圏域内における住民サービスは、どのように拡大してきたのか。

答 当初の連携事業数は65だったが、令和5年に改訂した現行の都市圏ビジョンでは、80事業となっており、圏域を拠点とするトップスポーツチームと連携した健康運動教室等を昨年から実施している。

さらに、令和2年度から取り組んでいる病児保育施設の広域利用では、12市町村の住民が利用できる状況となるなど、公共施設の相互利用をはじめとした幅広い連携事業の拡大により、こおりやま広域圏のメリットがあると考えている。

自転車利用者のヘルメット着用率向上について

問 事故の被害を軽減するため、頭部を守ることが重要と考えるが、ヘルメット着用率向上のために、どのように市民に働きかけていくのか。

答 関係団体と郡山駅等周辺の街頭啓発や、市内高校で自転車通学者に対する着用啓発等を行ってきた。

今後は、夏の交通事故防止市民総ぐるみ運動をはじめとした街頭啓発やウェブサイト等での周知のほか、ヘルメットを着用しない理由等のアンケートを実施し、効果的な着用率の向上に向けた取り組みを行う。



一般質問



日本共産党郡山市議員

たかはし よしはる
高橋 善治 議員



重度心身障害者医療費助成
における窓口負担について

問 後から返金されるとしても、窓口での経済的な負担が重荷になって、必要な医療を躊躇ちゅうちゆするようなことがあつてはならないと思うが見解は。

答 本市では、窓口での一部負担金の支払い分に係る助成金の受領権限を医療機関に委任することで、窓口での支払い負担が軽減される制度を平成19年4月から導入しており、令和4年度の実受給者数は85名、1千90件の助成実績がある。

今後も、窓口での一部負担金の支払いが困難な人については、本制度の活用を提案するなど状況に応じた対応に努めていく。



重度心身障害者医療費の助成

保育料軽減対象世帯の拡大と
軽減額の引き上げについて

問 3歳未満児保育料無償化への第一歩として、住民税所得割額13万3千円未満となっている軽減対象を全世帯にし、無料以外は一律5千円となっている軽減額を引き上げるべきではないか。

答 現制度のもと、全世帯を対象とすると年間約3千700万円が必要となるほか、軽減額を引き上げると、更に多額の財政負担を伴うこととなる。対象世帯の拡大と軽減額の引き上げについては、今後の事業の継続性及び保護者負担の公平性を考慮するとともに国による制度改正や新たな財政支援の創設など、国の取組みを注視しながら検討していく必要があると認識している。

一般質問



立憲民主党郡山

やなぎだ しゅういち
柳田 尚一 議員



食料自給率向上について

問 食料はいくらでも買える時代ではないという問題自体がほとんど認識されていない現状をどう捉え、今後どのように食料自給率向上を図っていくのか。

答 国の食料・農業・農村基本計画に基づき、昨年3月に第四次郡山市食と農の基本計画を策定し、食料の安定供給の確保と消費拡大の推進により、食料自給率の向上に取り組むことと位置づけした。農業経営の安定化を図るため、農業法人も含めた個別生産性を高めていく必要があり、農業法人化、新規就農支援などを推進し、農業生産性の更なる向上を図り、食料自給率の向上等に貢献していく。

敬老祝賀会について

問 今年度は、市が関わらず各地域の自主性に任せるとしているが、市からの助成金もなく、地域での独自開始は大変厳しいと思う。市は今年度の状況をどのように考えているのか。

答 直近の開催である2019年度の参加率は、市全体で約20%と低迷しており、また、実行委員自身が高齢化し、負担が大きいとの意見が多く寄せられた。今年度の敬老会については、地域の実情に応じながら、各町内会において負担の少ない持続可能な方法で検討してもらいたいと考えている。



一般質問



立憲民主党

吉田 よしだ

公男 きみお 議員



旧豊田貯水池の雨水貯留について

問 令和元年東日本台風並みの降雨で、総雨量100万tを超える開成山排水区では、更なる貯留施設の整備が急務であり、旧豊田貯水池を貯留施設として再整備すべきでは。

答 旧豊田貯水池の活用は、防災・減災・リスクマネジメントの視点を重視し、水害を抑制するグリーンインフラの考え方を基本としている。

昨年度、市民向け現地見学会等を行い、意見を受け、本年度は、旧豊田貯水池周遊のための園路整備、見学会や講演会を開催する予定である。



現在の旧豊田貯水池

急傾斜地対策について

問 赤木地域公民館南側の急傾斜地で、昨年倒木があり、民有地だったが、市に緊急的に対策をしてもらったと聞いている。

民有地での急傾斜地対策は、

答 急傾斜地に関する法律において、維持管理は、急傾斜地の所有者、被害を受けるおそれのある者等が施工することとしているが、施工することが困難または不相当と認められる場合、都道府県が施工するものとしている。

赤木地区の未施工区間は、施工に多大な費用や、高度な技術力などが必要であるため、県が、7月に測量設計業務に着手し、令和6、7年度の2か年で整備する予定である。

一般質問



自由民主党郡山市議団

村上 こういち

晃一 議員



郡山市都市計画マスタープラン2015改定について

問 プラン改定に合わせ、東部地区の市街化調整区域解除に向け大きく舵を切るべきと考えるが見解は。

答 区域を算定する際の指標となる人口が減少基調であり、今後も人口減少が進むことが見込まれることから、決定権者である県の見解は、現行の市街化区域を維持することを基本としている。

このため、市街化調整区域の解除について、本市の土地利用の状況や産業集積の動向を踏まえ、都市計画の変更について、引き続き県と協議を進めていく。

カラス追払い対策の強化について

問 郡山駅周辺地区におけるカラス追払い対策の具体的な内容と期待される効果は。

答 駅前広場に、カラスが嫌がる、不安に感じる鳴き声を再生する追払い機材を2台設置するほか、可搬式の機材1台をパトロール時に活用することとしている。

期待される効果としては、駅前周辺に飛来するカラスの個体数を減らし、密度を下げることに繋がることを期待しており、引き続き、駅前商店街やJR等関係団体と連携し、カラス対策の取組みを継続していく。



郡山駅前の木に集まるカラス

一般質問



新政会

あいた
會田

かずお
一男 議員



西田学園周辺通学路の交通安全対策について

問 西田学園前を東西に走る市道の高野分館から鬼生田橋間は朝の交通量が非常に多く、一刻も早い交通安全対策をお願いしたいが見解は。

答 西田学園北側の広域農道は、歩道の新設に着手する予定であり、西側の道路約1.4kmは、合同点検・対策会議の結果、管轄する機関が安全対策を実施することになっている。今後も各関連機関と連携し、ハード面の整備を進めるとともに、保護者や地域の皆様にも、児童生徒の安全確保について依頼し、地域ぐるみで子どもを守る取組みに協力してもらえよう働きかけよう働きかけていく。



西田学園前を東西に走る市道

敬老会の次の世代への継承について

問 先人の労に報い、長寿を祝う敬老会を継承するなど、お年寄りを大事にすることを次の世代につないでいくことが必要であると思うが見解は。

答 高齢者を対象に毎年開催している「豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い」において、高齢者との関わりをテーマに高校生等から提言などをもらうほか、あさかの学園大学の運動会等で、高校生等がボランティアで運営補助をするなど、世代間交流に資する多様な取組みを通じて、若い世代の敬老意識の醸成につなげていきたいと考えている。敬老会等の高齢者施策は、次世代に負担を残さない形で市民相互の交流が図られることが大事であると考えている。

一般質問



虹とみどりの会

へびいし
蛇石

いくこ
郁子 議員



東日本大震災及び原子力災害の伝承について

問 2024年に市制施行100周年を迎えるが、2011年の東日本大震災及び原子力災害とその教訓を、市はどのように伝えていくのか。

答 本市では、東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故の記録や記憶を後世に継承するため、約5万4千点のコンテンツをインターネットで公開する郡山震災アーカイブ等により、継承に努めている。災害の状況を後世に伝えることは重要であり、現在整備中の（仮称）歴史情報・公文書館でも、災害記録の保存とデジタル化を図り、防災意識の高揚と、災害に強いまちづくりを推進し、未来へ確実に継承できるよう努めていく。

市いじめ問題調査委員会について

問 市いじめ問題調査委員会（2022年12月21日設置）の開催状況と今後の報告等の時期は。

答 当調査委員会は、2023年6月22日現在までに5回開催され、関係する職員や生徒などからの聞き取り、生徒指導の記録等の分析を中心に調査を進めている。今後、調査が終了次第、当調査委員会から教育長へ答申をする予定である。



市いじめ問題調査委員会の設置

一般質問



郡山市議会公明党

小島 寛子 議員



犯罪被害者の支援制度について

問 県の条例制定を受け、犯罪行為により亡くなった遺族や重疾病を負った人などへの見舞金制度の創設や条例等の制定が広がっているが、本市でも条例制定や見舞金制度を創設すべきでは。

答 見舞金の支給事務は市町村の事務とされ、本市でも検討してきた。

被害者が見舞金申請を行う際の対応について、県から見解が示され、本市でも、見舞金制度を令和6年度から実施できるよう進めることとした。今後は、条例または要綱のどちらが相応しいか、検討していく。



県犯罪被害者等支援条例リーフレット

小・中学校と電子図書館の連携について

問 小・中学生に電子図書館への利用登録を促し、タブレット端末を活用して、各学校で電子書籍による読書を推進してほしいと思うが見解は。

答 2019年10月から児童生徒が図書館の図書利用カードを利用し、電子書籍等の閲覧ができ、2022年5月からは、児童書読み放題パックも利用できるようになった。

電子書籍は、図書利用カードがあれば、児童生徒のタブレット端末から閲覧ができる。また、今年度は市内中学生へ利用カードがなくても電子図書館にアクセスできるよう、IDとパスワードを配付する準備を進めており、今後、読書活動の充実を図っていく。

一般質問



国民民主党

渡部 龍治 議員



課題解決先進都市の創生について

問 2024年に迎える市制施行100周年記念のロゴマークとキャッチフレーズが決まったが、市長が想う課題解決先進都市郡山の未来のあるべき姿とは、どのようなものか。

答 市まちづくり基本指針では、将来都市構想を「みんなの想いや願いを結び、未来へとつながるまち郡山」と定めた。

先人の開物成務※の精神を受け継ぎ、「ひらけ未来へこおりやま」を合言葉に、新たな歴史を築いていく「100年創造都市」を目指すため、次代の主役となる若者たちが活躍できる基盤を整えるとともに、市民や事業者が活躍できるように、各種施策を総合的、継続的に実施していく。



ひらけ 未来へ こおりやま 市制施行100周年記念のロゴマークとキャッチフレーズ

※開物成務…中国の古典「易経」にあり、読み下しは「物を開きて務めを成す」。人知を開発して、事業を成し上げよと。

一般質問



立憲民主党郡山

八重樫 やえがし

小代子 さよこ 議員



学校給食費の無償化について

問 単発、短期での無償化は、保護者は不安である。

国へ学校給食法の改正や財源等を要望するなど、来年度以降の実現に向けた方針は。

答 来年度以降は、国の財政支援等の状況を踏まえながら、予算に計上できるように関係部局と総合的に検討している。

なお、地方自治法第2条第14項で「地方公共団体は、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」としていることから、調理提供等のソフト面や、中学校給食センターの再整備等ハード面でも、経常コスト削減に向けた調査研究を進めている。



本市の学校給食

国民年金で入所できる介護施設について

問 国民年金を満額支給（令和5年度月額6万6千250円）

されていた人が、入所できる施設の状況と、その現状をどう捉えているのか。

答 地域密着型を含む特別養護老人ホームは、6月1日現在、24施設1千395床となっており、今年度、3施設190床が竣工予定となっている。

特別養護老人ホームについては、介護施設及び待機者等の状況を踏まえながら、国の基本指針案や本市の介護保険サービス見込量等の将来推計、利用者や事業者に実施した調査等をもとに検討していく。今後、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で日常生活を送れるよう、必要な介護サービスの提供に努めていく。

一般質問



新政会

折笠 おりかさ

正 ただし 議員



2040年の人口動態の目標について

問 少子化対策に関連して、2040年における本市の人口動態の目標は。

答 2020年3月に改訂した市人口ビジョンの中では、

本市の2040年における将来推計人口は、国立社会保障・人口問題研究所の手法に準拠すると26万5千374人になるものと推計している。

人口減少社会にあっても持続的発展を遂げる都市を目指し、県やこおりやま広域圏全体の発展にも寄与する役割を担う本市においては、同ビジョンの中で、特に人口動態の目標は定めていないものの、2040年の人口30万人程度を維持することを目標として掲げている。

今後の県農業経営・就農支援センターとの連携について

問 県は本年4月3日、JAGグループ福島など、県内の農業3団体と同センターを開設したが、今後、どのように連携していくのか。

答 現在、当センターの重点支援対象者に選定された、認定新規就農者等20名を対象に、経営相談などの現地巡回指導を行っている。

今後においても、関係機関と情報共有を図るとともに、就農や営農の定着、農業法人化、経営の発展など、それぞれの課題解決に向けて、連携を強化し、認定新規就農者等の新たな農業経営体の確保・支援を推進していく。



県農業経営・就農支援センター

一般質問



志翔会 久野 ひさの

三男 みつお 議員



高齢者のバス利用の無料化について

問 市総合交通計画マスタープランでは、交通手段が充実し、すべての人が安心して円滑に移動できるまちを基本的方針としている。

高齢者の社会参加と健康維持を推進するため、高齢者の路線バスの運賃無料化を实行してほしいと思うが見解は。

答 本市の高齢者健康長寿サポート事業で、温泉等のほか、バスやタクシーに使える利用券を年間最大8千円分交付し、その利用割合はタクシーが55.5%、温泉が28.3%、バスが9.3%となっている。

他自治体での無料化事業において、当該事業のバス利用率が必ずしも高くはないため、本市での無料化の必要性については、検討していく。

資源回収推進報奨金の引き上げについて

問 資源回収は、町内会や老人会等の活動資金として、貴重な財源になっている。

現在の報酬単価1kg5円から引き上げることは、地域団体の活性化と協力支援になるとともに、ごみの減量等へとつながると考えるが見解は。

答 本市の単価は、県内で2番目に高い水準であり、令和4年度の集団資源回収量は約3千173tで、約1千586万円の報奨金を交付し、回収量、交付金額は県内最多である。

また、民間主導のリサイクル事業が活発化するなどしているため、報奨金については現行制度を維持していく。



資源回収

一般質問



緑風会 大木 おおき

進 すずむ 議員



高齢者（独居老人）見守り対策について

問 少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増加する中、デジタル技術を用いた見守り支援（安否確認）システムによる事業展開が必要と考えるが見解は。

答 今年度は、既存の緊急通報システムに加え、新たに通信機能を内蔵したLED電球「ハローライト」を導入することとした。

今後も、高齢者世帯の増加や多様なニーズに対応するため、デジタル技術を最大限活用し、高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に、それぞれの生活スタイルに従って暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの推進に努める。

児童生徒の安全確保のための歩道設置について

問 喜久田町行政区の要望として優先順位が高い、市道小段瓶焼場線の通学路歩道設置は、通学時の安全確保のため、道路を拡幅して設置すべきではないか。

答 県道荒井郡山線との交差点部分からの50m区間については、令和3年度に整備を行っており、残りの300mの区間についても、通学路合同点検により危険箇所と位置付けたことから、今年度、歩道設置に向け、現地調査等を実施することとした。

今後、関係者の理解を得られるよう、説明会を開催する。



通学路となっている市道小段瓶焼場線

一般質問



志翔会

佐藤 さとう

政喜 まさき
議員



堆肥センター建設について

問 下水汚泥、生ごみ、家畜堆肥、稲わら等地域資源を活用した堆肥センターを市内の東西に建設し、優良な堆肥の供給を検討してはどうか。

答 本市では、稲わらを畜産農家へ供給し、畜産農家から出た堆肥を稲作農家に還元する耕畜連携により、有機物の循環利用を推進している。

堆肥センターの建設については、ニーズの把握をはじめ、施設の管理運営主体等、事前の合意形成が重要であると考えており、今後は耕畜連携を更に広めるとともにJAや肥料メーカー等関係機関と連携を図りながら検討していく。



堆肥供給畜産農家リスト
市堆肥マップ

人口減少について

問 市人口ビジョンでは、2040年以降は30万人規模の維持を目標としているが、人口減少の容認ではなく、人口増加に向けての政策を打ち出すべきと考えるが、見解は。

答 本市では、SDGsの基本理念のもと、あらゆる分野におけるDX※・GX※の推進など、各種施策を総合的に継続的に実施している。

今後も、本市の地理的優位性や充実した都市機能を活かし、雇用の確保、関係人口の創出や定住促進、グローバル化・DX推進に対応した教育環境の整備や子育て環境の充実等に努めていく。

※DX：デジタルトランスフォーメーション
ICTにより生活をあらゆる面で良い方向に変化させること。
※GX：グリーン・トランスフォーメーション
再生可能エネルギーの活用など脱炭素社会に向けた取り組みのこと。

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書

年月日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名) ※
(紹介議員)

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

陳情書

年月日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名) ※

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

※氏名は、署名又は記名押印が必要です。

議会P D C Aサイクル

令和4年度対象事業の評価をまとめました

各常任委員会において、対象事業に関する進捗報告の聴取と評価を実施するP D C A※サイクルに取り組んでおります。今定例会で対象事業の評価を取りまとめましたので報告します。

※P D C A : 計画→実行→評価→改善の4段階を繰り返し、業務を改善する手法

常任委員会	令和4年度対象事業とその評価
総務財政	<p>◆旧豊田貯水池利活用事業</p> <p>現地見学会や利活用懇談会の実施状況などの質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。</p>
	<p>◆（仮称）郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業</p> <p>立体駐車場における誘導表示のあり方などの質疑を交わし、資料館交流エリア等展示設計委託の完了、立体駐車場西側における道路改良工事の竣工等、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。</p>
建設水道	<p>◆五百淵公園里山再生事業</p> <p>植栽した樹木の間隔及び間伐や、整備後のメンテナンスなどの質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。</p>
環境経済	<p>◆体感型環境学習施設の整備事業</p> <p>施設利用者の増加へ向けた関係機関との連携などの質疑を交わし、施設整備の竣工により年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。</p>
文教福祉	<p>◆統合型校務支援システム</p> <p>教職員の意識改革や勤務状況の分析などの質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。</p>

令和5年第1回臨時議会

エネルギーなどの物価高騰が続く中、国の交付金を活用し、生活困窮世帯、家計、事業者への支援を速やかに実施するための予算を審議し、小学校給食費の全額公費負担に要する経費8億7千318万円を含む一般会計補正予算案を全会一致で可決しました。

■開催日

4月28日

■補正予算の主な内容

- ・住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対する給付金
- ・小学校給食費全額公費負担
- ・再生可能エネルギー設備等への補助拡充
- ・畜産経営基盤の支援強化
- ・中小企業の賃上げやDX採用活動支援
- ・民間児童施設等の光熱費や給食材料費の支援
- ・中小企業等事業再構築へのチャレンジ支援

令和4年度政務活動費の収支報告をお知らせします。
 会派名、所属議員数は、令和4年度末時点のものです。
 ※支出内訳中、会議費及び人件費については全会派0円のため省略しています。



収支報告書

(単位：円)

支出内訳						差し引き額 【市への返還額】	会派 執行率 (%)
広聴費	要請・陳情 活動費	資料作成費	資料購入費	事務所費	通信運搬・ 自動車燃料費		
0	0	271,075	866,594	1,200,190	289,446	717,332	93.04
0	0	97,992	514,009	176,751	488,795	2,409,206	74.90
0	0	22,255	281,789	461,271	310,160	92,714	98.07
0	89,600	142,595	183,772	409,357	111,206	126,011	97.37
0	0	4,316	71,093	0	0	618,607	82.82
0	0	0	228,000	108,900	0	3,263,100	9.36
999,570	0	620	41,841	14,168	40,159	0	100.00
0	0	1,139	102,121	7,920	0	55,315	95.39
0	0	0	140,369	42,437	0	1,017,194	15.23
0	0	0	0	0	0	1,200,000	0.00
0	0	0	0	0	0	1,200,000	0.00
999,570	89,600	539,992	2,429,588	2,420,994	1,239,766	10,699,479	75.63

政務活動費とは？

議員の調査研究などに必要な経費の一部として、会派に対し交付されます。

■ 交付概要

会派に対し、議員一人あたり月額10万円が支給されます。

■ 収支報告

会派は収支報告書等を作成し、領収書等を添付して、議長に提出します。

また、残金は市へ返還します。

■ 情報公開

収支報告書や領収書等は市議会ウェブページで公開します。

また、市政情報センター（本庁舎1階）または議会事務局（西庁舎6階）でも閲覧することができます。

議員表彰

6月14日に開催された第99回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治発展への尽力に対し、次の議員が表彰されました。

■ 議員20年以上表彰

大城 宏之 議員
 七海 喜久雄 議員

また、全国市議会議長会部長、特別委員会委員としての功績により、感謝状が贈呈されました。

塩田 義智 議長

市議会だより



行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置するとともに、市議会ウェブページに掲載しています。

また、点字版・音声版も発行しています。

令和4年度政務活動費収支報告

会 派 名		会派への 交付額	支 出 額	支 出 内 訳		
				調査研究費	研修費	広報費
志翔会	(8人)	10,300,000	9,582,668	0	3,979,610	2,975,753
新政会	(8人)	9,600,000	7,190,794	784,000	1,182,447	3,946,800
郡山市議会 公明党	(4人)	4,800,000	4,707,286	457,120	639,060	2,535,631
緑風会	(4人)	4,800,000	4,673,989	471,240	40,880	3,225,339
立憲民主党郡山	(3人)	3,600,000	2,981,393	0	0	2,905,984
自由民主党 郡山市議団	(3人)	3,600,000	336,900	0	0	0
日本共産党 郡山市議団	(2人)	2,400,000	2,400,000	0	0	1,303,642
虹とみどりの会	(1人)	1,200,000	1,144,685	0	0	1,033,505
無所属の会	(1人)	1,200,000	182,806	0	0	0
立憲民主党	(1人)	1,200,000	0	0	0	0
国民民主党	(1人)	1,200,000	0	0	0	0
合 計		43,900,000	33,200,521	1,712,360	5,841,997	17,926,654



市議会ウェブページを見てみませんか



郡山市議会のウェブページでは、本会議や委員会の会議録、市議会中継のほか、定例会日程など様々な情報を発信しております。

詳しくは郡山市ウェブサイト、右上のQRコード、または、「郡山市議会」で検索してください。



9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
		9/19 本会議（開会）	20 議案調査	21 議案調査	22 事務整理日 （休会）	23 休会
			※陳情締切			
24 休会	25 ※請願締切	26 本会議（市政一般質問）	27 本会議（市政一般質問）	28 休会	29 休会	30 休会
10/1 休会	2 本会議 （市政一般質問）	3 常任委員会	4 常任委員会	5 事務整理日 （休会）	6 本会議 （補正予算等先議）	7 休会
8 休会	9 休会	10 決算議案書熟読日 （休会）	11 決算議案書熟読日 （休会）	12 決算議案書熟読日 （休会）	13 決算特別委員会	14 休会
15 休会	16 決算特別委員会	17 決算特別委員会	18 本会議（閉会）			

- ・正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
- ・本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継



議会を傍聴してみませんか



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。本会議、常任委員会の会議開始は通常午前10時です。



	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	開始 30 分前から	開始 40 分前～20 分前
定員	74人 ※先着順	各委員会15人 ※定員を超えた場合は抽選

編集後記

今号の表紙は、見学学習で議場を訪れた芳山小学校の6年生です。広聴広報委員が、議会の役割や仕組みなどについてリーフレットを活用し説明しました。模擬議会では、子どもたちが自ら考えた議案を提案し、市長役・議長役・議員役に分かれ、電子採決を体験しました。子どもたちの提案は、学校生活に関するものが多く、一人一人がそれぞれの役割に真剣に取り組んでいました。未来の郡山を子どもたちにつないでいくためにも、私たちが、より身近な市議会、開かれた市議会を目指していかなければならないことを再認識いたしました。（柳田）

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷/株式会社やまと印刷

紙へリサイクル可



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。